



自衛隊栃木地方協力本部

宇都宮駐屯地74周年記念行事で広報展！ ～地元住民と絆を深める～



顔出しパネルを楽しむ来場者

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は4月6日（土）、宇都宮駐屯地で実施された74周年記念行事において広報展を実施した。

当日は家族連れを中心に多くの来場者で賑わった。迫力ある観閲行進や訓練展示などたくさんさんの催し物が開催される中、地本のブースでは制服試着、災害派遣パネル展示、顔出しパネル、射的、自衛官募集コーナーを設け、多くの来場者が記念撮影などを行い楽しんでた。親子で来場した方が、「子供が自衛隊大好きなんです！大きくなったら自衛官になりますのでよろしく願います！」と笑顔で話してくれた。

栃木地本は「今後も、駐屯地と連携を密にし、地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動していくとともに自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していく」としている。



制服試着をして記念撮影



制服試着を楽しむ来場者



地本ブースの様子

航空学生入隊式参加 ～夢だったパイロットの道へ一歩前進！！～



入隊式を迎えた菅原1士の様子



自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 宅原2陸尉）は、4月7日（日）に同事務所所属の非常勤隊員から航空自衛隊防衛北基地で行われたご子息、菅原 柊（すがはら しゅう）1等空士の入隊式参加の報告を受けた。

菅原1空士は、令和4年度自衛官候補生として栃木地本から航空自衛隊熊谷基地に入隊した。3ヶ月の教育終了後、「航空管制」として愛知県の航空自衛隊小牧基地にある第五術科学校に入校中であつたが、夢だったパイロットの道を諦めきれず、再び航空学生採用試験に挑戦した。管制官の勉強をしながらの試験は大変だつたさうだが、令和4年度で不合格となつた第2次試験を今回は見事に突破し、その勢いのまま第3次試験も合格して、晴れて第80期航空学生となつた。

入隊式当日は、天候にも恵まれ桜が満開の中、式典が行われた。菅原非常勤隊員は、航空学生OBの先輩方の展示飛行や学生ドリルなどを見て、「いつか息子もこんな立派なパイロットになれるといいな」と話してくれた。菅原1空士は、「これから2年間、厳しい訓練が待っているが1日1日を全力で頑張ります」と抱負を語つた。

小山地域事務所は「今後も入隊後の隊員と連携を密にして、自衛官募集業務につなげていく」としている。



集合写真



入隊式の様子